

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和4年4月12日（火）14時00分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁 テレビ会議システム
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、佐藤室長補佐、星上席技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（テレビ会議システムによる出席）

安全研究・防災支援部門 安全研究センター

担当者 2名

安全研究・防災支援部門 規制・国際情報分析室

担当者 2名

安全研究・防災支援部門 福島第一原子力発電所事故分析チーム

担当者 2名

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 燃料デブリ取り出しプログラム部

担当者 1名

福島第一廃炉推進カンパニー 原子力設備管理部

担当者 5名

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室

担当者 1名

経営技術戦略研究所

担当者 1名

5. 要旨

- 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に係るBWR格納容器内有機材料熱分解生成気体の分析の進捗に関して、資料に基づき、説明があった。
- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に係るケーブル・塗料・保温材の可燃性ガス発生量評価試験の進捗に関して、資料に基づき、説明があった。
- 原子力規制庁から、各試験の分析概要や分析条件などを確認するとともに、分析データの確認を行った。

○JAEA及び東京電力における各試験の分析概要、分析条件及び分析データについては、双方で試験に使用した試験器具（検出器、カラム等）の仕様等を確認するとともに、分析条件の設定理由、分析データの解釈等を関係者間で議論した。

6. 資料

- 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第28回）資料3-1 [BWR格納容器内有機材料熱分解生成気体の分析－結果速報－（2022年2月28日 日本原子力研究開発機構）]
- 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第28回）資料4-1 [ケーブル・塗料・保温材の可燃性ガス発生量評価試験結果（2022年2月28日 東京電力ホールディングス株式会社）]

以上